

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	
内線	3714				
部 名		課 名	会計課		課長名 佐藤 晃
事務事業名	会計事務管理費				
予算上の事務事業名	会計事務管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード				
基本目標					
政策名					
基本施策名	事業開始年度				
施策名	昭和63年以前 ▼				
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地方自治法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	現金の出納		支出負担行為の確認及び債務の確定の確認を行い支払いをする。		
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分 内部管理 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市長からの支出命令に基づき、正当債権者に対し支払を行う。				予算	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市長からの支出命令に基づき、当該支出負担行為が法令又は予算に違反していないこと及び当該支出負担行為に係る債務が確定していることを確認し、正当債権者に対し支払を行った。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	16,258	14,683	20,905	19,899	19,899
一般財源	16,258	14,683	20,905	19,899	19,899
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	125,850	120,150	129,120	129,120	121,050
事業コスト合計(a)	142,108	134,833	150,025	149,019	140,949
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	会計事務管理費			対象名称(単位)	支出命令書の審査及び支払
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	142,108	134,833	150,025	149,019	140,949
対象数					
単位あたり経費(円)					
前年度比					

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	支出命令書審査件数		指標式と指標の説明	市長からの支出命令の審査件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	91,914.0	87,513.0	77,308.0		
目標				70,949.0	65,114.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	支払件数		指標式と指標の説明	債権者に対する支払件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	171567.0	164659.0	150654.0		
目標				141214.0	132365.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		法令に基づいた事務であり、現状を維持する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 平成17年度から電子決済を導入して事務の効率化を図っているが、さらに審査事務、経理手順の見直しを図る。			14 課題として認識されたこと 審査件数、支払件数共に減少傾向にある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			